第40回「小さな親切」はがきキャンペーン

こころのエッセイコンテスト

“あのときは ありがとう”。
心にほんわか灯がともる、そんな瞬間がきっと誰にでもあるはず。
改めて思い返せば、その大切さに気づくことでしょう。
ふとした出会いや何げない一言など、
胸の奥底にしまったままの思い出をエッセイにしてみませんか。
当時の情景とともに、伝えたい想いをしたためた
体験エピソードを募集します。
応募作品は書籍に収録される場合も。
手書きで綴るはがき、書き慣れたメールなど、
いずれかを選択しぜひご応募ください!

テーマ
あのときは ありがとう
～心から伝えたい～

対象 高校生以上
（高校生と同じ年齢のもの含む）

しめきり 2024年
9月4日（水）〈必着〉

表彰式 2024年11月29日（金）
全国表彰式席上

あなたの作品が
出版物に
収録されるかも!?

入賞・入選作品は、
ラジオで
朗読されるチャンスも
あります!

主催：公益社団法人「小さな親切」運動本部　後援：日本郵便株式会社／読売新聞社　協賛：株式会社河出書房新社

第40回「小さな親切」はがきキャンペーン

こころのエッセイコンテスト

応募方法

いずれかのテーマにそった体験とタイトル、住所・氏名（ふりがな）・年齢・職業または学校名・電話番号を明記の上、下記方法でご応募ください。

はがきから

文字数は、はがき1枚に収まる程度、手書きでなくても可。郵送で応募。テーマ氏名等は文字数に含みません。

メールまたはフォームから

専用メールアドレスまたは、「小さな親切」運動本部WEBサイト内応募フォームから応募。文字数は600字以内（はがき1枚相当）。

※応募作品は自作・未発表のものに限ります。
※学校等団体で取り組む場合は、可能な限り取りまとめて一括でご応募ください。難しい場合は、「団体応募」と分かるように所属を必ず明記してください。
※応募作品の所有権及び著作権は、公益社団法人「小さな親切」運動本部に属し、応募作品は返却いたしません。
※応募作品は当団体WEBサイト及び情報誌『小さな親切』等で紹介することがあり、その際作品のタイトル変更及び補作を行うことがあります。
※入賞・入選全作品は、本部発行の作品集に収録されます。
※選外作品も書籍発行時に作品収録の可能性があります。
※作品応募にあたってご提供いただきました個人情報は、コンテスト運営上必要な利用目的の範囲内（入賞者へのご連絡、賞状及び副賞の発送、新聞・WEBサイト・作品集における発表等）において利用いたします。

送り先

公益社団法人「小さな親切」運動本部
はがきキャンペーン係
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-20-4
TEL：03-3263-2866　FAX：03-3263-3838

メールアドレス　hagaki-oubo@kindness.jp
WEBサイト　https://www.kindness.jp/

賞

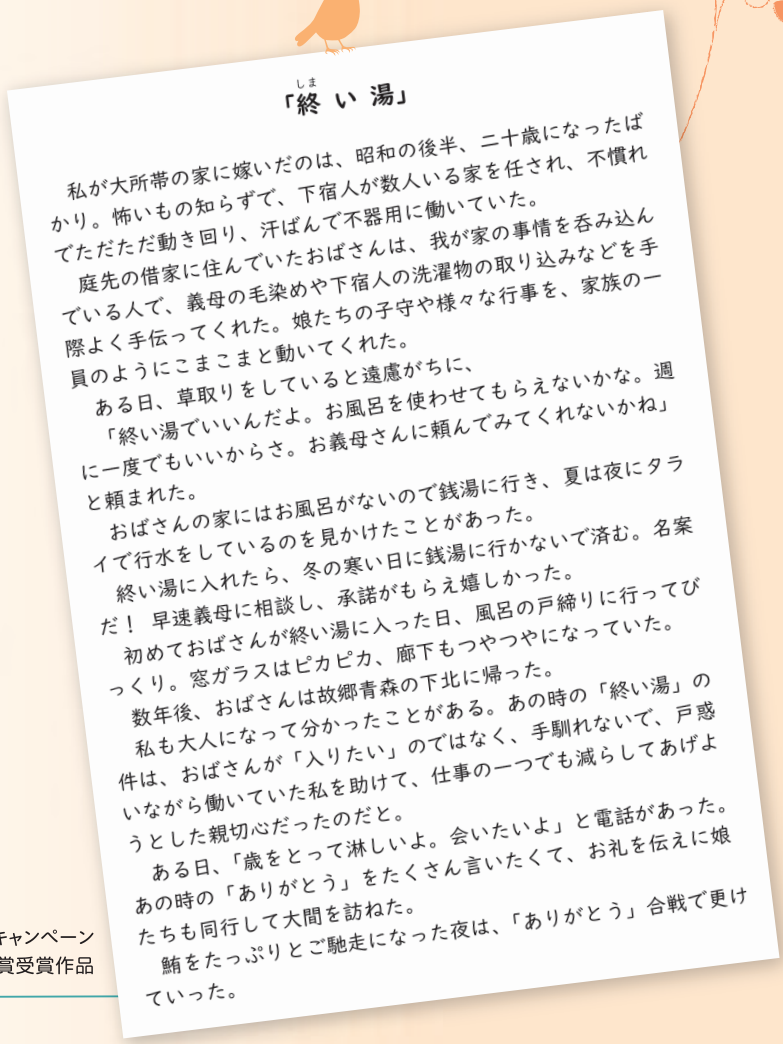
大賞……1名
日本郵便賞……1名
読売新聞社賞……1名
河出書房新社賞……1名
入選……20名
第40回記念表彰……1団体

副賞

上位賞……切手・図書カードなど
入　選……図書カードなど

入賞発表

2024年11月上旬
読売新聞および情報誌『小さな親切』、「小さな親切」運動本部WEBサイト等で発表



「終（しま）い湯」

私が大所帯の家に嫁いだのは、昭和の後半、二十歳になったばかり。怖いもの知らずで、下宿人が数人いる家を任され、不慣れでただただ動き回り、汗ばんで不器用に働いていた。

庭先の借家に住んでいたおばさんは、我が家の事情を呑み込んでいる人で、義母の毛染めや下宿人の洗濯物の取り込みなどを手際よく手伝ってくれた。娘たちの子守や様々な行事を、家族の一員のようにこまこまと動いてくれた。

ある日、草取りをしていると遠慮がちに、

「終い湯でいいんだよ。お風呂を使わせてもらえないかな。週に一度でもいいからさ。お義母さんに頼んでみてくれないかね」

と頼まれた。

おばさんの家にはお風呂がないので銭湯に行き、夏は夜にタライで行水をしているのを見かけたことがあった。

終い湯に入れたら、冬の寒い日に銭湯に行かないで済む。名案だ！ 早速義母に相談し、承諾がもらえ嬉しかった。

初めておばさんが終い湯に入った日、風呂の戸締りに行ってびっくり。窓ガラスはピカピカ、廊下もつやつやになっていた。

数年後、おばさんは故郷青森の下北に帰った。

私も大人になって分かったことがある。あの時の「終い湯」の件は、おばさんが「入りたい」のではなく、手馴れないで、戸惑いながら働いていた私を助けて、仕事の一つでも減らしてあげようとした親切心だったのだと。

ある日、「歳をとって淋しいよ。会いたいよ」と電話があった。あの時の「ありがとう」をたくさん言いたくて、お礼を伝えに娘たちも同行して大間を訪ねた。

鮪をたっぷりとご馳走になった夜は、「ありがとう」合戦で更けていった。

第39回はがきキャンペーン
大賞受賞作品